

大学評価学会は、「国際人権A規約第13条問題特別委員会」を設けて、「無償教育の漸進的導入」に係る研究を深めてきました。今回、公開研究会(2)を企画しました。ご参集下さい。

- ・日 時：2015年8月23日(日) 10:00～15:00(終了予定)
- ・場 所：キャンパスプラザ京都 6階 龍谷大学サテライト教室
- ・アクセス：JR・京都市営地下鉄・近鉄京都線「京都駅」下車、徒歩5分。
※ 京都中央郵便局の西側、ビッグカメラの向い側。
<http://www.consortium.or.jp/>
- ・内 容：【午前の部(10時～12時。報告とディスカッション)】
吉川 徹 氏(大阪大学)「日本の学歴社会と格差・不平等」(仮)
(関連文献)
『学歴社会のローカル・トラック—地方からの大学進学』世界思想社、2001年。
『学歴と格差・不平等—成熟する日本型学歴社会』東京大学出版会、2006年。
『学歴分断社会』筑摩書房、2009年。

【午後の部(13時～15時。報告とディスカッション)】
光本 滋 氏(北海道大学)「北海道における高等教育の権利保障をめぐる状況」(仮)
(関連文献)
『新自由主義大学改革：国際機関と各国の動向』(共編著)東信堂、2014年。
「高大接続と大学入試制度改革の行方」『教育』(830)、2015年。
- ・備 考：参加費は不要です。
(資料準備の都合がありますので、参加希望の方は下記までご一報ください。)

*午後の部は、大学評価学会第13回全国大会(2016年5月14日～15日、北海道大学)の基調を検討する機会としても位置付けています。

基盤研究(B)一般 H27-29 課題番号 15H03474
略称「無償化」科研
[研究代表者 渡部昭男(神戸大学大学院教授)]
分担研究者 細川孝(龍谷大学経営学部教授)
メール・アドレス hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp